

世論のさらなる形成が大事

大阪泉南地域のアスベスト国家賠償訴訟を勝たせる会
泉南勝たせる会ニュース
 第8号
 2009. 8. 15
 連絡先 石民の市
 泉南地域と被害者の会
 泉南市信達六尾 595
 Tel. 072-483-4981
 Fax. 072-484-0641

裁判ではひとつの区切り、引き続きご支援をお願いします
 泉南勝たせる会代表委員 半田 秀男

皆様方の瞳目(どうも)すべきご奮闘のおかげで、今までのところ、成すべきことの多くは成しえたのではないかと思います。心からお礼申し上げます。今、一つの区切りがついたところかと思えますので、お礼のご挨拶に代えて、僭越ですが、幾つかのことを記させていただきます。

これからは裁判所がどのような結論を出すか(裁判官がどのような判決文を書くか)が大きな焦点になってきます。私どもの側としては、裁判所の判決文作成に対して可能な限り積極的な影響を与えるべく、これからの活動を構築・展開していくことが肝要かと思えます。

大きいのは世論のさらなる形成かと考えます。アスベスト問題の国民的重要性(被害の深刻性・被害者救済の喫緊性・被害防止措置の不可欠性等)は、事の本質を知りさえすれば誰しも分かってくれると思えます。しかし、この国には、残念なことに、他にも緊要の重要問題があれもこれもと重なってあります。そんな中で、まだまだアスベスト問題は多数国民の意識に十分上ってきてはいないように思います。このことは、しかし、私どもにとってもまだまだ未開拓の大きな可能性がある



7月29日、第25回裁判の報告集会
 報告される半田秀男先生

ことを物語っているとも言えます。アスベスト問題に対する国民意識の大きな形成のためには私どもの大なる努力が求められますが、広く各方面の人たちに働きかければ、比較的容易に大きな意識変化をもたらすこともできると思えます。大阪での署名はまだ目標に達していないことに鑑み、これからも粘り強い取り組みを続けなければなりません。

その他に重要なこととして、計画中の出版物に注目したいと思います。『蟹工船』が思わぬ注目を浴びているように、今回の出版が大きな成功を得ることができれば、アスベスト問題に関する国民意識の高揚に資するところは小さくないと思えます。

署名活動、出版活動等を通じて国民意識の一つの波といったものを形成することができれば、きっと裁判官も自らの責任の大きさを改めて噛みしめると思えます。被害者の深刻な状況は裁判官にもかなり伝わったと思えます。後は世論の波を大きく形成して、判決文作成に何らかのインパクトを与える、公正判決に支えを与える、そんなことが、特に重要になっていると思う次第です。このようなことを展望に持ちながら、これからの第二段階とも言えるべき運動を形づくっていききたいものだと、私は思っています。

皆様、今後とも何とぞよろしくお願いいたします。

11月結審にむけ 10月3日に大集会

(予定)
 午後2時 センターにて
 天満研修センターにて

十一月の結審にむけて、府民全体のとりくみに広げていくために十月三日(土)午後二時 天満研修センターで大きな集会を予定しています。
 これまでの裁判を振り返り著名な方の講演(交渉中)で元気の出る企画とするよう準備をすすめています。

三〇万人署名達成して第二段階の運動へ



7月29日、第25回裁判の報告集会。弁護団のみなさんご苦労様です。

必ず大阪で、15万署名をやり遂げよう

大阪・泉南市砂川台6地区自治会で、署名を回覧。
地域ぐるみで署名行動がすすめられています。ありがとうございます。

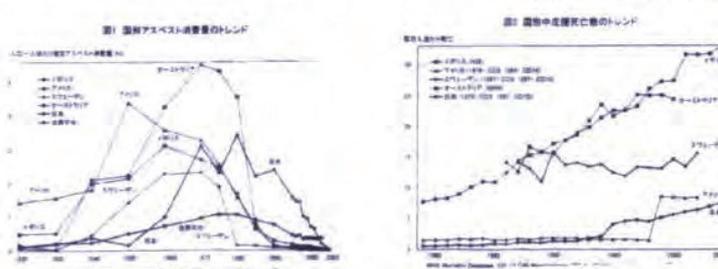
結審(11/11)まで 署名の集中を

各地・各団体で署名活動がすすめられています。いま大事なことは、広げられた署名用紙を急いで集めることです。せつかく署名していただいているのに、提出できなければ、その努力が無になります。皆さん、よろしく願います。

回覧

大阪・泉南アスベスト 国家賠償請求訴訟 署名ご協力お願い
および参考資料(詳細、添付資料)

10班の虎谷さんから、添付回覧しております上記署名への協力要請がありましたので、よろしく願います。
私達が住む泉南地域は早くから石綿(アスベスト)工業の操業を開始、以来、その中核として発展しました。(今は操業廃止)
現在、石綿健康被害(中皮腫・肺がん等)が長い潜伏期間のあと顕在化してきており、被害者の方の状況は極めて深刻です。
尼崎市では久保田鉄工所(水道管製造、内面に石綿含む被覆材を塗布)周辺の一般市民の方にも健康被害が発生しています。
日本ではアスベスト使用禁止が遅れ(図1)、潜伏期間が長い健康被害の発生は今後本格化するとされています。(図2)
泉南に住む我々にとって身近に起こっている「公害」訴訟であり、我々自身の将来の健康とも無関係とは言えません。
関心を持ち、行動していきましょう!



第二陣、約一〇名が国賠訴訟を提訴 九月二四日、宣伝行動し、提訴へ

来る九月二十四日、い 全域で、被害の実態が明らか
ま裁判を闘っている第一 になつていくでしょう。
陣の訴訟団に続き、第二 この日、早朝(午前八時
陣、約一〇名が、国賠訴 三〇分)から梅田・淀屋橋・
訟を提訴します。 天満橋の各駅頭で宣伝行動を

アスベストによる惨禍 行い、その後、第三回目の
は、泉南市・阪南市など 五万筆の公正判決要請署名を
泉南地域全域だけでなく、大阪地方裁判所に提出します。
その使用状況からも日本 多くのご支援をお願いします。

九月二〇日「泉南アスベスト惨禍を国に問う」を出版へ

裁判の記録を残し今後のステップに

アスベスト被害と加害の原点を問うこの裁判のことを、もつともつと多くの人に知ってほしい。そんな思いから、泉南アスベスト問題とは何なのか、どんな人が、どんな状況の中で、どんな被害に遭ったのか、わかりやすく伝える「本」を出版します。

内容は、①原告数名の手記+病気の解説(水嶋潔医師)、
②泉南市民の会柚岡一禎代表の意見書、
③宮本憲一先生の小論の3部構成です。(A5判、96頁、
一〇五〇円) 九月一〇日、かもがわ出版から刊行予定。
来春の勝訴に向けての小さな小道具、大きな武器にした
いと思います。乞うご期待!

尼崎や泉南の石綿被害を題材にしたアニメ作品を検討中。

神戸大の松田毅さんが、京都精華大の漫画 | 留学生ジョバンさんから、同国の石綿問題を
部と組んで、尼崎や泉南の石綿被害を題材に | 扱ったまんが本を見せられ「これはいい」と
した作品を予定しています。ストーリー性 | 思われました。、60ページ立てで、採掘場や
ある漫画は特に若い世代にアピールします。 | 紡織工場、管をつけた被害者の姿が劇画タッ
松田教授が、泉南調査に参加したフランス人 | チで描かれています。